

八幡発展の礎を築いた教育文化

1) 概要

八幡商人や地域有力者の持つ潤沢な経済力は、明治時代以降の市域の**教育・文化の発展**へと反映されることとなります。

明治10年～26年(1877～1893)にかけて滋賀県で行われた識字率調査(自分の名前が書けるか)において、市域の識字率は、男子約90%、女子約40%と、他府県と比較しても突出して高い結果となりました。これは、八幡商人等の輩出と、彼らが近江国出身者を奉公人として採用したこと、その際必要な文字の使用や計算能力の需要のため、**地域で文字学びが奨励**されたことに起因すると考えられます。

八幡町では、明治6年(1873)に**八幡西学校**(現旧伴庄右衛門家本家)、**八幡東学校**(現白雲館)が開校しました。西川甚五郎をはじめとする八幡商人たちは、開校に係る建設資金の提供のほか、西学校は大阪師範学校(現大阪教育大学)から、東学校は東京師範学校(現筑波大学)からそれぞれ教員を雇用し、高い教育環境を整えました。

同年、北里村(現江頭町)においても、**至誠学校**(現江頭町公民館至誠館)が創設されました。至誠学校の建物は自治会館機能を持ち、**江頭町自治会共有文書**には、至誠学校時代に使用された教科書類が残るほか、明治初期の滋賀県教育行政に関する文書が唯一残されており、滋賀県の教育史を語るうえでその存在は欠かせないものとなっています。また、高等科尋常科八幡小学校長であった**大島一雄**は、明治初期に「作文初歩」など教科書を出版し、その蔵書は市立近江八幡図書館に所蔵されています。

明治34年(1901)、大津市から移転した**八幡商業学校**(現滋賀県立八幡商業高等学校)は「近江商人の士官学校」とも称され、西川産業や伊藤忠など日本を代表する企業の経営者を多数輩出してきました。今なお現役の校舎として使用される校舎は、同校の英語教師として赴任したウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計によるものです。

ヴォーリズは、妻一柳満喜子とともに、キリスト教の精神のもと、子どもたちが健全に遊ぶことができる場所として、ヴォーリズ合名会社の保育施設であるプレイグラウンドを設置し、その後**清友園幼稚園**(現近江兄弟社ひかり園)をはじめとする教育事業を進めました。当時の園舎が、近江兄弟社学園ハイド記念館(旧園舎)及び教育会館(旧講堂・体育館)として現存しています。

一方、大正15年・昭和元年(1926)、八幡商人西川伝右衛門家当主である**西川吉之助**は、東京の成城小学校で先進的な教育法を実践していた ^{たにのぼる}谷 騰 を招き、宇津呂村土田に日本一小さい私立学校**昭和学園**を創立しました。全校生徒9人の学校では、子どもたち自身が学習計画を立てて成果を発表しあう、現在のフリースクールのような授業を行いました。西川吉之助は、昭和学園にも通う娘濱子が聾者とわかると、みずから口話法による教育を開始・実践し、昭和3年(1928) **滋賀県立聾話学校**(現栗東市)を創立しました。濱子ものちに一柳満喜子のもと、近江兄弟社で教育者として勤務することとなります。

これら地域に萌芽した教育的素地に培われ、**島尋常高等小学校**(現近江八幡市立島小学校)では、昭和戦前期において**先進的な郷土教育**が実践され、全国的に名の知れた学校となりました。

その他、江戸時代初期の陽明学者であり、日本初の庶民学校として名高い閑谷学校(国宝・特別史跡、岡山県備前市)の創立に貢献した**熊澤蕃山**は、桐原の地で一時勉学に励んだことが伝えられています。

近世から近代にかけての近江八幡市域は、全国でも有数の教育の先進地であり、その教えや理念は、各学校や地元企業の社員教育の指導法の根幹として現在に継承されています。

2) 構成歴史文化資産

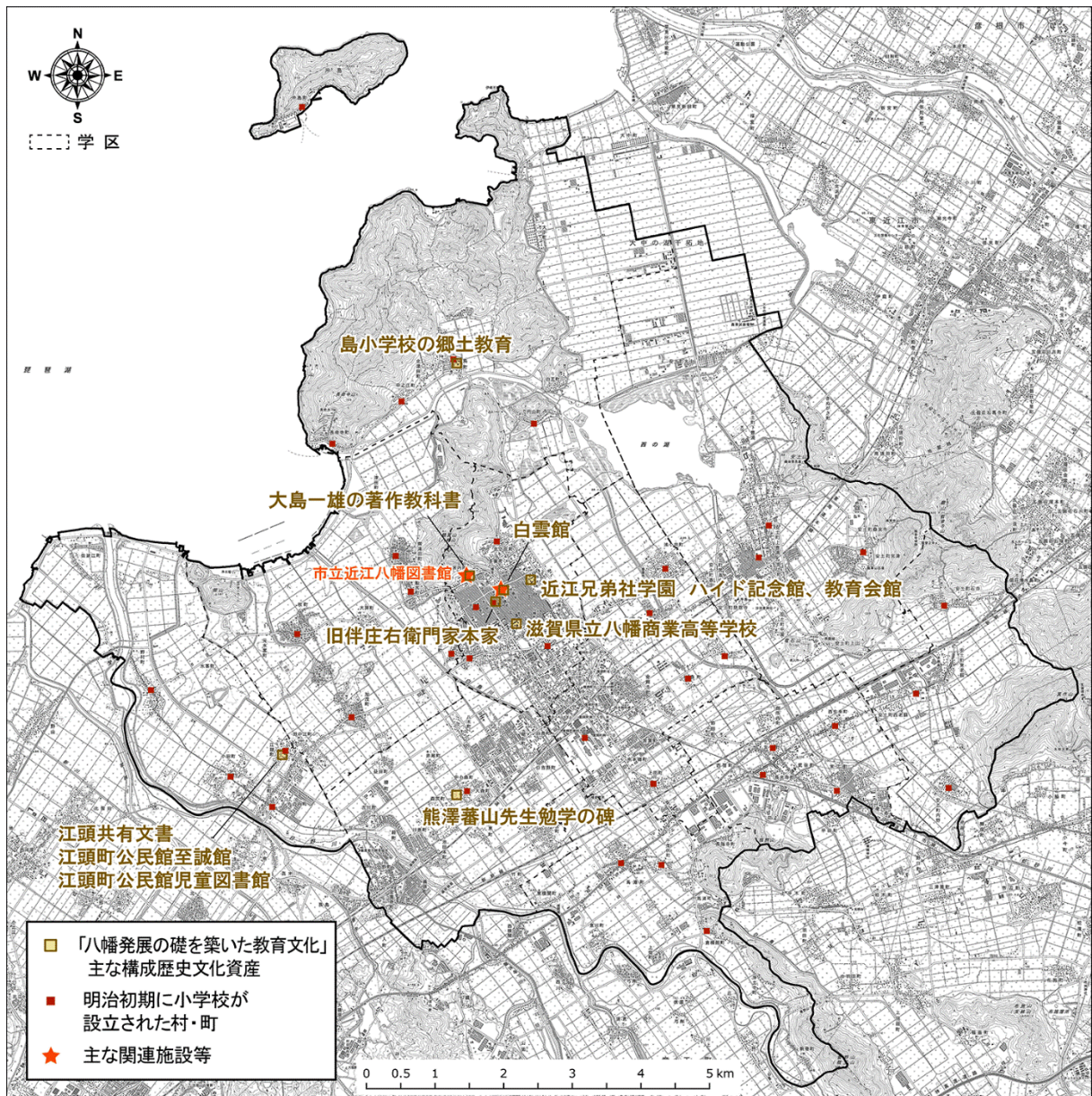
	種別	名称	類型
1	有形文化財	旧伴庄右衛門家本家	市指定文化財
2	有形文化財	白雲館	国登録文化財
3	有形文化財	近江兄弟社学園 ハイド記念館、教育会館	国登録文化財
4	有形文化財	滋賀県立八幡商業高等学校（旧八幡商業学校）	未指定
5	有形文化財	江頭町公民館至誠館（旧至誠学校）	未指定
6	有形文化財	江頭町公民館児童図書館（十時太鼓堂）	未指定
7	その他人文	江頭共有文書	未指定
8	その他人文	大島一雄の著作教科書（「作文初歩」等）	未指定
9	その他人文	島小学校の郷土教育	未指定
10	その他人文	熊澤蕃山先生勉学の碑	未指定

その他…市域の旧小学校・中学校等に関連する資産（文書群、古写真、学校跡地の碑等）、近江八幡市の教育文化の沿革、研究、実践に関する文献、文書群等、近江八幡市の教育の発展に携わった人物（平瀬光慶、西川吉之助、茶谷龍城、山本勝蔵、藤川栄太郎、一柳満喜子等）及びその関連資産等

3) 保存・活用の核となる関連施設等

白雲館（八幡）、市立近江八幡図書館（八幡）など

「八幡発展の礎を築いた教育文化」主な構成歴史文化資産等の分布



※市外に所在、または市内外の美術館等に寄託している資産について元の所在地情報に基づき場所を示している



白雲館(旧八幡東学校)



至誠館



八幡商業高等学校



大島一雄の著作教科書



旧伴庄右衛門家本家
(旧八幡西学校)



ハイド記念館、教育会館
(旧清友園幼稚園)



至誠学校設立初期に
使われた教科書



島尋常高等小学校
農作業の風景